



みんなで創る 庭塚小学校

～教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく歩む子どもの育成～



力を発揮した6年生



福島市小学校体育大会 陸上競技会 9/30 6年生 選手として出場

福島市小学校体育大会陸上競技会が、新型コロナウイルス感染予防のために、無観客、6年生選手のみでの参加、競技以外はマスク着用などの対策を講じて開催されました。本校からは、6年生全員が出場しました。

今年度の大会開催については、不明瞭なところがあり、大会開催が明らかになったのは、1学期終了時の8月初旬でした。選手選考や練習は、9月になってから、担任や体育部の先生方の指導を受けながら、体育の時間や放課後に行いました。その成果があり、大会当日は、予選や決勝で、力を発揮することができました。

一人一人の頑張りや入賞も素晴らしいのですが、何より嬉しかったのは、練習を含めて一つの目標に向かって共に励まし合い取り組んだという体験で、6年生という集団が確実によりよい集団への変貌していることです。よりお互いを認め合い信頼し合う集団へと進化しているのです。何よりも、嬉しくてたまりません。6年生は、庭塚小学校の誇りです。



【入賞者】
祝

男子80mハードル 4位 齋藤 周真
男子ソフトボール投げ4位 阿部 斗真
女子ソフトボール投げ7位 横山さくら
男子100×4リレー8位 阿部 斗真・齋藤 周真・後藤 真之介・阿部 岳

1・2年生

こむこむ館で学びました！

1・2年生が、それぞれ別の日に、路線バスに乗って福島駅まで行き、こむこむ館で、様々な体験をしてきました。



【1年生】



【2年生】

さらに 力を発揮！

6年生が運動会について考える

今年度の運動会は、小学校単独で行う「特別な運動会」になります。感染予防対策などについて、教職員も考えているところですが、なんと6年生が国語科「話し合って考えを深めよう」で、「運動会の応援合戦」について立場を明確にして考えを出し合ったそうです。

◇立場を明確にする。

運動会では 応援合戦を「やる」「どちらでも」「やらない」

◇それぞれの理由を明確にする。

やった方がいい理由

○毎年恒例だから。

どちらでもよい理由

○やるんだったら対策をとらなければいけない。

○応援合戦をしても活気が出るかどうか。

やらなくてもよい理由

○コロナ対策が難しい。 ○全校生が集まると密になる。

○応援合戦ではなく、違う競技をやりたいから。

◇それぞれの意見を主張しあう。

「やらない」「どちらでもよい」が多かったようですが、お互いの考えを伝え合ううちに「対策をとってできるのではないかな」になり、「手拍子でやる」「距離をとり、マスクをつけてやる」「メガホンもいいかな」「マイクを使えばどうだろう」というコロナ対策についての意見が次々と出されたそうです。

結論は？自分達の想いをもち、どのように進めるのか・・・6年生がさらなる力を発揮するのを楽しみにしています。6年生すごいです。

